

～持続的な海と人の関わり方を探る～



私の仕事への情熱

現在、私達が取り組んでいるのは、港の構造物に生物の生息場としての機能を付加した生物共生型護岸が、地球温暖化の抑止にどの程度役立っているかを把握するための調査です。複雑な生態系で生じている現象をできるだけ正確に把握するための調査を計画し、安全かつ適切に実施するとともに、調査の結果を分かりやすく社会に還元していくことを心掛けています。

休日の過ごし方

家族とゆっくり過したり、趣味のサッカーをしたりしています。最近では、息子のサッカーチームのコーチもしており、子供達と良い汗を流しています。



復建調査設計株式会社はSDGsの取組を推進しています！
[\(https://www.fukken.co.jp/social/sdgs/\)](https://www.fukken.co.jp/social/sdgs/)

横浜港湾空港技術調査事務所と生物共生型護岸が持つ

ブルーカーボン効果の解明に関する基礎調査に取り組んでいます！

令和5年度 生物共生型護岸における炭素吸収・固定能力等基礎調査

復建調査設計株式会社 管理技術者 三戸 勇吾